

特別支援・教育活動 サポーター研修

～支援の必要な児童生徒をサポートするために～

- | | |
|---------------|--------|
| ①令和5年7月19日（水） | 9：30～ |
| ② | 13：30～ |
| ③令和5年7月20日（木） | 9：30～ |
| ④ | 13：30～ |

川崎市総合教育センター 特別支援教育センター
川崎市教育委員会学校教育部 支援教育課

そもそも特別支援教育って？

経緯



特殊教育

- 「障害の種類や程度」に応じた教育
 - 障害があるかないか
 - 個々の教師による個別対応が主

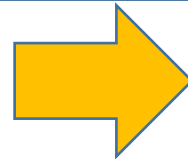


~~特別支援教育~~

- 一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育
 - 知的障害のない発達障害も対象
 - 学校として全体的、総合的に対応

学習指導要領

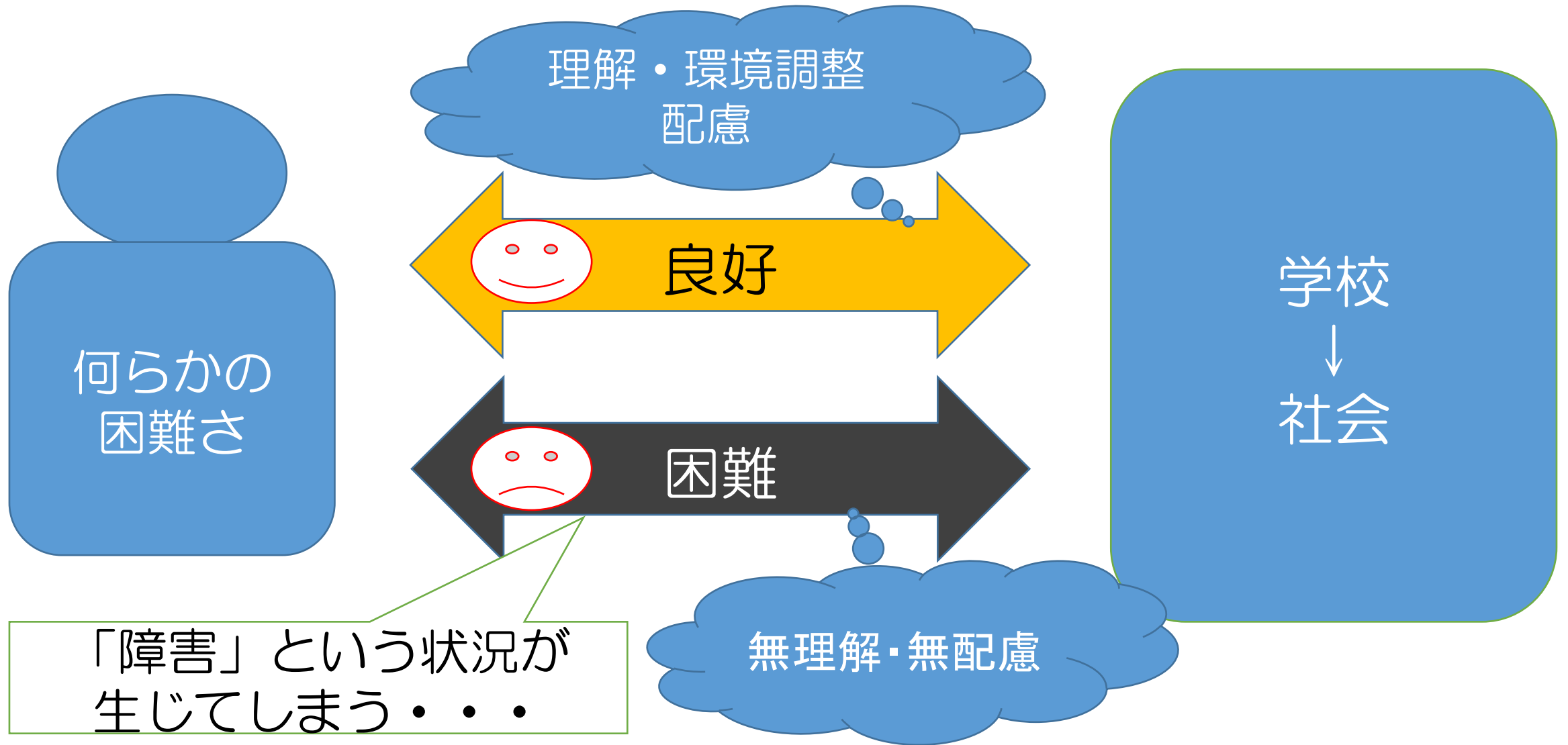
養護・訓練



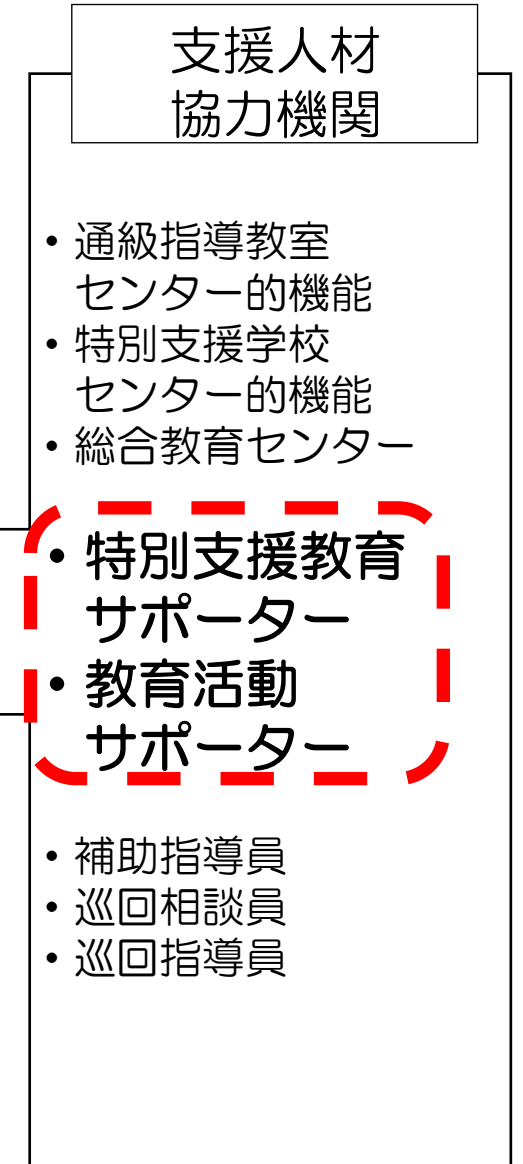
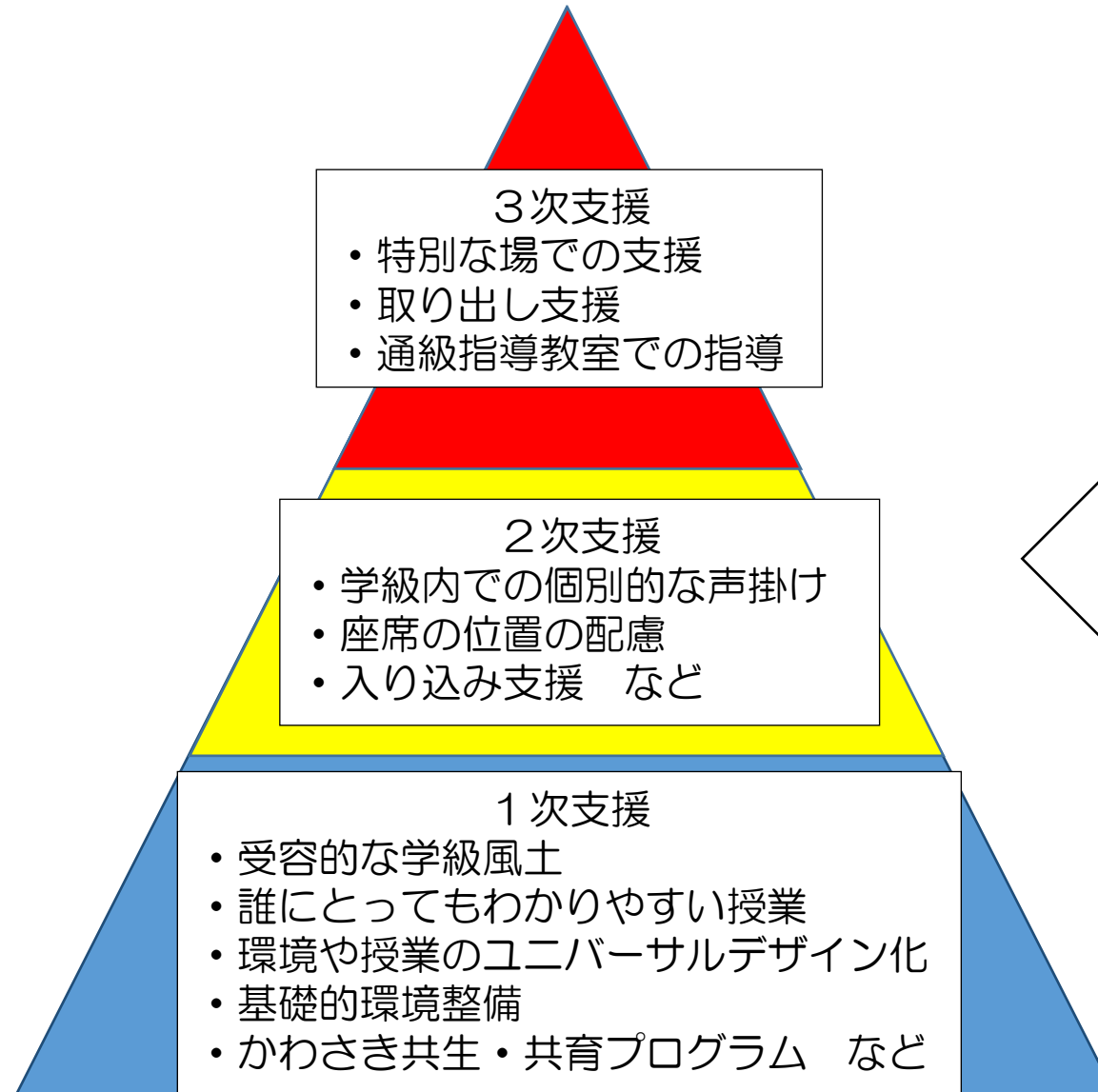
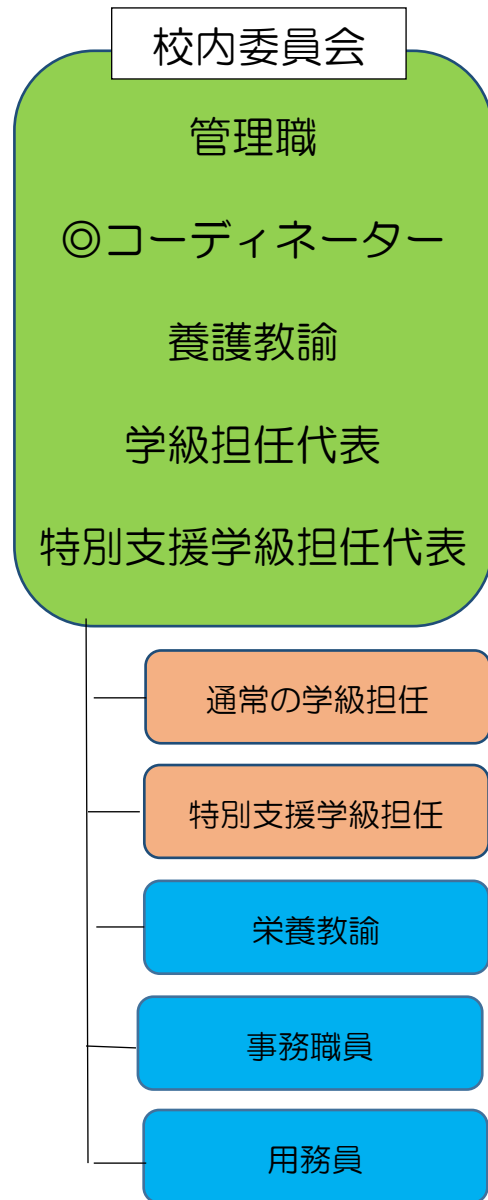
自立活動

一人ひとりの教育的ニーズに対応するため皆さんの協力が必要です！

周囲の環境が「障害」を生んでいる、という考え方



学校の支援体制



特別支援教育サポーター・教育活動サポーターの役割

平成19年 文部科学省

『「特別支援教育支援員」を活用するために』

校長、教頭、支援教育コーディネーター、担任教師と連携の上、次のような役割が想定されます。

特別支援教育サポーター・教育活動サポーターの役割

① 基本的な生活習慣確立のための日常生活の介助

- 自分で食べることが難しい児童生徒の食事の介助をする。また、必要に応じて身支度の手伝いをする。
- 衣服の着脱の介助を行う。一人でできる部分は見守り、完全にできないところもできるだけ自分の力で行うよう励ます。
- 児童生徒の食事、排泄等の介助を行う。

特別支援教育サポーター・教育活動サポーターの役割

②発達障害の児童生徒に対する学習支援

- 教室を飛び出していく児童生徒に対して、安全確保や居場所の確認を行う。
- 読み取りに困難を示す児童生徒に対して、黒板の読み上げを行う。
- 書くことに困難を示す児童生徒に対してテストの代筆などを行う。
- 聞くことに困難を示す児童生徒に対して教員の話を繰り返して聞かせる。
- 学用品など自分の持ち物の把握が困難な児童生徒に対して整理場所を教える等の介助を行う。



特別支援教育サポーター・教育活動サポーターの役割

③学習活動、教室間移動等における介助

- 車いすの児童生徒が、学習の場所を移動する際に、必要に応じて車いすを押す。
- 車いすの乗り降りを介助する。
- 教員の指導補助として、制作、調理、自由遊びなどの補助を行う。



特別支援教育サポーター・教育活動サポーターの役割

④児童生徒の健康、安全確保関係

- 視覚障害のある児童生徒の場合、体育の授業や図工、家庭科の実技を伴う場面（特にカッターナイフや包丁、火などを使う場面）で介助に入り、安全面の確保を行う。
- 教師と他の子どもが活動している間、児童生徒の容態の変化を把握する。
- 他者への攻撃や自傷などの危険な行動の防止等の安全に配慮する。

特別支援教育サポーター・教育活動サポーターの役割

⑤ 周囲の児童生徒の障害理解促進

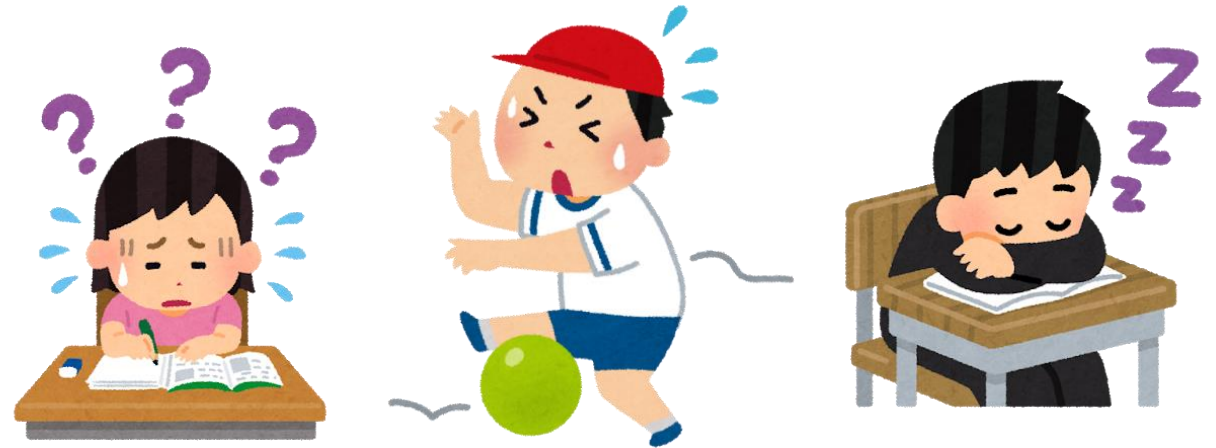
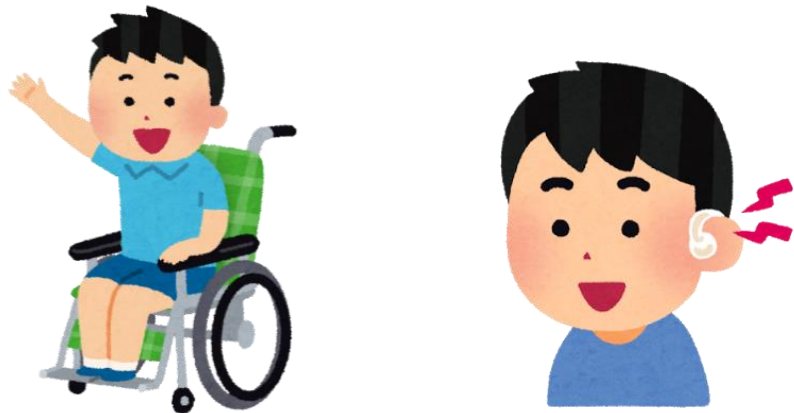
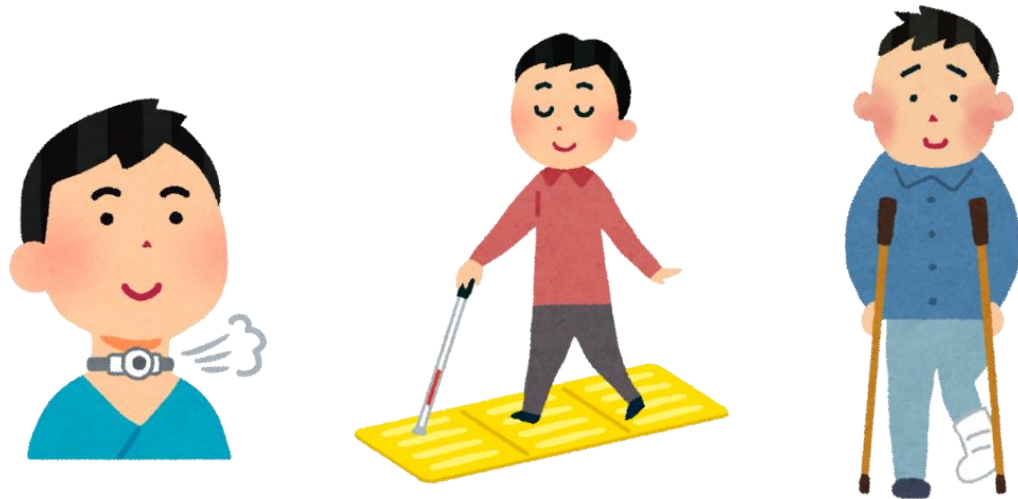
- 支援を必要とする児童生徒に対する、友だちとしてできる支援や適切な接し方を、担任と協力しながら周囲の児童生徒に伝える。
- 支援を必要としている児童生徒に適切な対応の仕方をする。

障害のある子どもと接する大人の姿そのものが、他の子どもたちの「関わりモデル」となる

最初に示した「学校にいる様々な児童生徒」 2つに分類できますか？



比較的理解されやすい課題と見逃されやすい課題



一人ひとりの困り感を理解し、 そのニーズに対応していく

- 一人ひとり困り感はちがうので、子どもを障害特性にあてはめていくことでは、子どもの実態は何も見えてこない。

×「あの子はADHDの子」「LDの子」

- 子どもの特性を理解し、支援・配慮することで障害は個性と捉えることもできる。

- 周囲の環境（無理解）によって、障害は生ずる。

発達障害三つのタイプとその特徴

自閉症スペクトラム障害 (ASD)

- ・コミュニケーションが苦手
- ・行動や興味に大きな偏り

学習障害 (LD)

- ・全般的な知的発達に遅れはないが、「読み」「書き」「計算」などの能力に困難が生じる

注意欠陥・多動性障害 (ADHD)

- ・集中力がなく、忘れ物が多い（不注意性）
- ・じっとしてられない（多動性）
- ・思い付きで行動してしまう（衝動性）

* 実際は一人一人特性が異なり、二つ以上併存する人もいる

こんな子いませんか？①

- 学習の理解がゆっくり。ひらがなやカタカナを書くのに時間がかかり、下学年で習う漢字や計算をなんとか書く。
- 質問とは全く違う返事をするなど会話がかみ合わない。
- まわりくどい話し方をし、結局何が伝えたかったのかわからない。
- 不安が多く、消極的で、頼りがち。
- 昨日、明日など時間を表す言葉が分からない。
- 学校でのルールを理解できているのか分からない。
- 食事や身支度など身の回りのことをするのに時間がかかる。



こんな子いませんか？①



こんな弱さが考えられます。

時間や数量の
理解

抽象的な
思考

記憶

言葉の獲得

運動機能

- 一度に多くの物事を覚えることが難しい。
- 適切な言葉を使って話すことは苦手。
- 目に見えないものや、抽象的な概念を理解することは苦手。
- 姿勢を保持したり、細かい作業を行うことは苦手。
- 自分の行動をコントロールすることは苦手。
- 新しいことに対して、それまで身につけたスキルや知識を利用して問題解決を図ることは苦手。

こんな子いませんか？①



こんなことに配慮できると



- 絵や写真、実物を使って理解しやすくする。
- 動作や身振りを大きくして表現する。
- 生活に結び付いた実際的で具体的な内容を取り入れる。
- 得意な事や興味関心をもつことができる活動を取り入れる。
- 何かを伝えるときは一つずつ。繰り返して教える。
- 興味のあることで自然に体を動かす。
- 疲れやすいことがあるので、こまめに休憩をとる。

こんな子いませんか？②

- 授業中ぼんやりして先生の話を聞いていない。
- 立ち歩いたり、隣の友だちにちょっかいを出したり、じっとしてることがない。
- ちょっとしたことでもかっとなり、攻撃的になる。
- 忘れ物が多く、身の周りの物の整理整頓ができない。
- 先生の話の途中に出し抜けに発言する。
- 一方的におしゃべりが止まらない。
- 順番を待てない。



こんな子いませんか？②

こんな弱さが考えられます。

注意の持続

多動性

衝動性



- 授業中の活動または遊びの中で、集中し続けることが難しい。
- 宿題や何かの活動をする前に、計画を立てることが難しい。
- 目で見えたものや聞こえてくる音など周りからの刺激に反応してしまい、つい体が動いてしまう。
- 結果がどうなるか予測して、行動することが難しい。

こんな子いませんか？②

こんなことに配慮できると



- 約束表や、チェックリストなどをつくり、忘れず実行できるようにする。
- できたことはその時にすぐにほめる。
- よくないことは約束違反であることをすぐに示す。
- がんばりに見合うだけのご褒美を与える。
- どのような時に問題が起こるか観察し、それを想定した約束をしておく。後出しルールは無効。

こんな子いませんか？②

ごほうびの例

ねらいとする望ましい行動：順番を守る



- ①順番を守ることができたら、ポケモンシールが一つもらえる。
- ②ポケモンシールが10個たまると、トランポリンで遊ぶことができる。

※望ましい行動ができたことをほめ、シールがたまったことを大人も一緒に喜ぶとよい。

こんな子いませんか？③

- 周囲の人に合わせたり、集団で行動できない。
- 自分の好きなことを話し続ける。
- 社会常識やマナーが身につけていない。
- サイレンの音を怖がり、耳をふさぐ。
- 特定のものの興味関心に偏りがある。
- 味やにおいに対するこだわりがある。
- 同じ行動を繰り返す。
- 行事などに合わせた時間割変更等があるとパニックになる。
- 「ちょっと」「きちんと」が理解できない。
- 自由に過ごしていいと言われるとどうしたらよいのかわからない。
- 自分の思い通りにならないと癇癢を起す。



こんな子いませんか？③



こんな弱さが考えられます。

イメージする
力

変化への対応

意図の
読み取り

- 相手の気持ちを想像しながらコミュニケーションをすることが難しい。
- 新しいことに対して臨機応変に対応していくのは苦手。
- 聴覚、嗅覚などの感覚の敏感さ
- 言葉の裏にある意図の読み取りは苦手。
- 予測できないことやびっくりするようなことは苦手。

こんな子いませんか？③

こんなことに配慮できると



- 絵や写真、図で示す。
- 注意する時はおだやかに話す。
- うまくできた時は、ほめる・認める。
- 問題行動は許容範囲を決める。
- 自分とは違う感情や感覚をもっている、ということを尊重する。
- 何を、いつまでに、どれくらい行えばよいのか明示する。
- 自分の行動は自分で決めさせる。

こんな子いませんか？④



- 洋服のタグや布地がチクチクを気にしている。
- いつもと違う匂いによく気づく。
- 他の誰かがつらい思いをしているとすぐに気づく。
- 怒られている人がいると自分も不安になる。
- うるさい場所、大声を出す人などを嫌がる。
- 静かに遊ぶことを好む。
- 慎重すぎるところがある。

こんな子いませんか？④

こんな弱さ（強さ）が考えられます。

感覚の過敏さ

思慮深さ

共感力の高さ

反応の強さ



- 聴覚、触覚、嗅覚、味覚などが人一倍過敏。
- 体の反応が過剰に出過ぎてしまう。
- 大雑把に捉えることが苦手。
- 一つのことや細部に気になってしまう。
- 他人の気持ちに共感し過ぎてしまう。
- 学校などの雑多な環境は非常に苦手。

こんな子いませんか？④

こんなことに配慮できると



- つらさを他人に言いたがらないので、一人で多くの時間を過ごそうとする子の様子をしっかりと見ておく。
- 不登校や登校渋りの原因になっているのではないかと考えてみる。
- 本人が安心できる環境で過ごし、安心できる他人との信頼関係を築くようにする。
- 個別の対応（服装、食事など）が可能な検討してみる。

不適切な行動に対する不適切な対応の例

× 押さえつける、強く叱る、罰を与える

その時は効果があるかもしれないが、効果が持続しないばかりか、他の場所で問題行動が出る可能性もある。

対処者との信頼関係が構築できない。

× 対処者が感情的になってしまう。

感情的にならないようにするためにはできるだけ複数で対処する。

× その場を収めるために場当たりの的に容認する。

× 説得、説教、反省させる。

状況を理解できていない段階で

説得・説教・反省させても行動に反映されにくい。

一次障害＝個性/特性/障害

- じっとしてられない
- 忘れ物が多い
- 予定の変更があると不安になる
- 漢字学習をどんなにしても覚えられない 等
- すぐにカッとなる
- 何でも一番にならないと気が済まない
- 筋道を立てて話すことが苦手

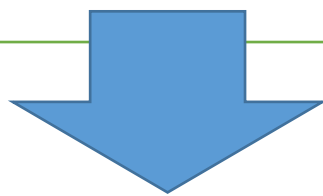


- 親や先生に叱られる
- 反省を強いられる
- 友だちとうまくいかない
- 集団から排除される (いじめ)



二次障害

認知や行動上の特性が障害として気づかれなかったり、認められなかったりしたために、必要な支援が受けられないばかりでなく、「やる気がない」「努力が足りない」など非難や叱責を多く受け、その結果、**自信や意欲を失ったり、自己肯定感の低下**を招いたりして、本来できることも困難になってしまうこと。



自信の喪失

学習性無力感
「どうせ」

集団に帰属
することが
困難になる

自信の喪失

学習性無力感
「どうせ」

集団に帰属
することが
困難になる

この状態が続くと



反抗挑戦
性障害

不登校

うつ

自傷行為

非行

認知の歪み

etc

二次障害を防ぐために

早期からの適切な支援、かかわりが必要



友達にすぐ手を出して
しまうAさん・・・
今日も休み時間に・・・

大人として、
どんな言葉をかけ
ていきますか？



「性格や特性」のせいにしていませんか？

- らんぼうな子
 - 約束を守れない子
 - 何度も同じことを繰り返す子
- と伝えるだけでは、「自尊心」を下げるだけ

大人の言葉で、
子どもが前向きになるには？



冰山モデル

見える部分へのかかわり
対処療法的

見えない部分
へのかかわり原因療法的

学力不振、怠惰、甘え
離席、暴力、片づけられない、
不登校

本人に起因するもの

- ・不注意傾向
 - ・多動性
 - ・衝動性
 - ・コミュニケーションの苦手さ
 - ・こだわりの強さ
 - ・読み書きの困難さ
- 等

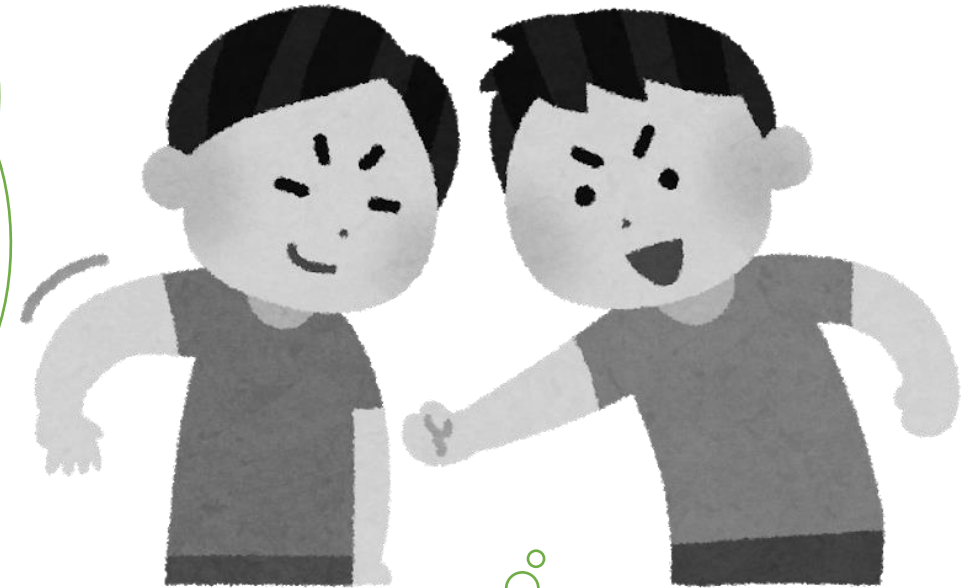
環境に起因するもの

- ・つまらない内容
 - ・接し方
 - ・話し方
 - ・ざわつき
 - ・寒暖
 - ・かまってもらえない
- 等

子どものよいところを見つけ出す



どうして
暴力をふる
うこと
になった
のかな？



ズルじゃんっ！！

もちろん暴力は許されること
ではありませんが・・・

子どものよいところを見つけ出す



まず共感！

友だちがズルをしたことが許せなかったんだね・・・



自分の気持ちや状況を振り返ることができたね！

正義感が強いのは良いことだけど、暴力はいけなかったね。





お疲れ様でした。

ご清聴ありがとうございました。

みなさんの元気が子どもの元気につながります。

まずは、みなさんの元気、笑顔を！！

今後ともよろしくお願いいたします！

参考文献

- 『はじめての特別支援教育』 柘植雅義、渡部匡隆、二宮信一、納富恵子 編 有斐閣アルマ
- 『知的障害のことがよくわかる本』 有馬正高 監修 講談社健康リブラリー
- 『図解よくわかる自閉症』 榊原洋一著 ナツメ社
- 『ふしぎだね！？ADHDのおともだち』 内山登紀夫 監修 ミネルヴァ書房
- 『教室でできる気になる子への認知行動療法』 松浦直己 著 中央法規
- 『特別支援学級経営の手引き』 岩手県立総合教育センター

